



# HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE

Race	SUPER GT Rd.6 SUPER GT SUGO GT 300km RACE
Date	2015.09.19-20
Race Track	SUPPORTS LAND SUGO
Team	RUNUP Group & DOES GT-R



## 予選は難なく Q2 進出、12番手で明日の決勝に臨む。

スーパー GT 第6戦は、宮城県のスポーツランド菅生で300キロレースとして開催されました。今回も前戦の鈴鹿から3週間と短いインターバルで開催されましたが、開催地が西から東へと移動していることや、季節の変わり目ということもあり、気温や路温が前戦とは大きく変化してきています。そのため、タイヤのコンパウンド選択が大きなポイントになってきます。また、このレースは鈴鹿でも一緒に走ってもらった、宮城県が地元の成澤選手と私の二人で戦うことになりました。

### 2015.09.19 FREE PRACTICE (フリー走行 9位 / 27台中) WEATHER : WET → DRY

この日は晴れているものの前日の雨が残っており、所々濡れた路面コンディションの中、1時間半のフリー走行がスタートしました。

先ずは成澤選手がドライブし、マシンに慣れてもらいながら、セッティングの確認を行ってもらいます。すぐに路面は乾き始めドライコンディションになったので、燃料も積んだ状態でロング走行を行ってもらい、決勝レースに向けたセッティングを確認してもらいました。

45分が過ぎセッションの半分を折り返した頃にドライバー交代し、私もレースセットの確認を行います。確認後はすぐに NEW タイヤへと変更し、2種類あるコンパウンドから予選とレースを考慮したタイヤ選択を行います。

先ず1セット目でアタックした結果、1' 21.2というタイムを記録しましたが、いまいち良いフィーリングではありませんでした。残り時間も少なかったため、もう1セットのタイヤへと変更し、セットは変更せずにアタックします。

その結果、1' 20.6とタイムアップし、トップから0.6秒落ちの9番手でフリー走行を終えることとなりました。



### 2015.09.19 QUALIFYING (公式予選 12位 / 27台中) WEATHER : DRY

午後に入り晴れ空の中、15分間の公式予選を迎えました。

Q2への進出が目標となる Q1 は私が担当し、まずは13番手以内を目指します。フリー走行後に予選に向け何か所かセット変更したので、これが良い方向に向かうかがポイントになってきます。

3分ほどビットで待機し、コースイン後2周ほどタイヤを温めたのちにアタックを開始しました。

フリー走行の時よりマシンバランスは向上していて、高速コーナーのバランスが特によくなったこともあり、1' 19.9というタイムで8番手につけます。

1周のクールラップを挟んでもう一度アタックしましたが、タイムアップは出来ず、最終的に8番手で Q2へ進出することになりました。

Q2は前回の鈴鹿同様、成澤選手がアタックを担当します。開始直後に赤旗が出てアタックが中断されましたが、再開後は徐々に自己ベストを更新する走りでのタイムアップし、最終的に12番手で公式予選を終えることとなりました。



## SPONSOR





# HIROKI YOSHIDA

OFFICIAL RELEASE



## SPONSOR



とくとく3rd  
倍っば



HEARTFUL  
SQUARE



## 決勝レースは序盤のアクシデントで無念のリタイアに終わる。

2015.09.20 RACE (決勝リタイア / 27 台中)

WEATHER : DRY

決勝日は晴天に恵まれ、夏のような陽射しの中、プログラムが進行していきます。

この日は、震災以降ボランティア活動を行っている Wheels のメンバーと GTA 様で学校訪問を行った、宮城県岩沼市玉浦小学校の生徒たちも応援に駆けつけてくれました。小学校で見た GT マシンとは違い、エンジンサウンドやにおいなどからもサーキット、レースの雰囲気を感じ、笑顔で観戦している子供たちが凄く印象的でした。



午後に入り、いよいよ決勝の時を迎えます。今回はチームで話し合った結果、成澤選手がスタートドライバーを担当し、私は後半の約 2/3 周回を走る作戦になります。チームに加入して以来、初めて後半スティントを担当することになったので、スタートの時をビットで見守るのも久しぶりでしたが、しっかり追いつけるように備えます。

300キロの決勝レースがスタートし、成澤選手は12番手をキープしたまま周回を重ねます。しかし、スタート後の混戦で徐々にポジション保つのが難しくなり、18番手までポジションを落としてしまいます。そこからは単独で走行していたのですが、9周目に入った2コーナー先でコースアウトしてしまい、クラッシュしてしまいました。

成澤選手に怪我はありませんでしたが、マシンはダメージを受けてしまったので、復帰を試みたものの難しく、ここでリタイアとなってしまいました。

レース序盤のことなので私は走行できず残念ではありますが、これもレースだと思うのでチーム全体で今回のことをしっかり反省し、今後に繋がりたいと思います。応援して頂いたスポンサー様、ファンの皆さま、本当に申し訳ありませんでした。

次戦はチームの地元である九州オートポリスが舞台となります。気持ちを切り替え、今シーズンのベストリザルトを残せるよう頑張りますので、引き続き、ご指導、ご支援よろしくお願い致します。

 吉田 広樹

